

# 業況レポート

## 情報連絡員報告

平成24年10月期

### 製造業

- ◇パン…気温も例年並みになり、少しではあるが売上は回復しているような気がする。
- ◇酒…9月の課税移出数量は前年比90%と落ち込んだ。焼酎乙類も同様の傾向が見られるが8～9月は前年を上回った。10/12に東京で「茨城地酒まつり2012」を開催し大盛会であった。
- ◇納豆…流通業界、外食産業の売上不振が当業界にも影響が出ている。流通業界の不振打破戦略のPB化推進による大幅なプライスダウンは、今後当業界にどの程度のインパクトがあるのか不安。売上減に加え、光熱費、原料の高騰は収益を圧迫している。
- ◇菓子…各地の秋のイベントに出店したものの、消費者の財布の紐は固く、菓子の売れ行きは低調だった。店頭での売り上げも伸びず景況は弱い状況が続いている。
- ◇繊維製品(袋物)…定番商材の受注数が伸びてこない。仕事量は全体的に少なめ。クリスマス特需に期待。
- ◇繊維製品(縫製)…業況の好転はみられないが、受注量は例年並み。加工賃引下げの影響が資金繰り圧迫となるのか注視したい状況。
- ◇木材…需要期に入りプレカット工場では順調な操業が続いている。需要は特定の工場に集中し、収益面では厳しい状況が続いている。国産材原木は伐採期に入り出材は本格化しているが、製品市況の鈍さが影響し例年の活発さは見られない。
- ◇プレカット…第1週は加工が無く先行きが心配されたが、第2週からは見積りが決まり、残業と外注で納期に間に合った状況。
- ◇段ボール…中国での不買運動の影響で、自動車部品等の出荷が悪く、製造業全般的に景気の悪化が懸念される。取引先からの値下げ要求もあり、今後の収益悪化が心配。
- ◇鍍金…受注、生産共に前年比減少。全般的に業界の景気は低調であるが、特に自動車・家電業界の生産減を受け厳しい状況。金属材料、工業薬品ともに安定している。電気料金・灯油・燃料代の増加が経営を圧迫させる要因となることが予想される。
- ◇重電…単発的に仕事が入ってきているが、長続きはしないようで、年明け以降の売上に不安を感じている。
- ◇電化機器…当月生産高は839百万円(前年同月比△12.4%)。家電関連は対前年比で若干のマイナスに対し、自動車関連は対前年同月、前月比共にマイナスとなり、11月の受注量はさらに減少が見込まれる。
- ◇自動車部品…生産高の低下傾向に歯止めがかからない。回復の見通しが立たず困惑。
- ◇工業団地(農機部品)…組合員7社中5社が売上増で、全体では前年同月比102%。仕事量は増減が続いている。納品先の生産量は増加傾向。為替の高止まり状態もあり海外調達比率が上がっているのかもしれない。

### 非製造業

- ◇セメント卸…袋セメントの出荷袋数は前年同月比8%減少だったが、前月比では33%の増加。前々月比でも22%増加であり、震災需要が続いているように思われる。
- ◇水産卸…精算所取扱高は前年同月比1.69%減。市場開設40周年の感謝市を開催し、多数の来場者で賑わった。
- ◇食品卸売…青果物関係は盆明けの好天に恵まれ作柄良好で前年並みの入荷量だったが総じて単価安で推移。後半は単価もやや持ち直し、若干の前年度割れで推移。

- ◇県北地区共同店舗…中小企業等グループ復興共同事業として、B級グルメ選手権に出店し、被災地域復興をアピールした。
- ◇県南地区共同店舗…下半期がスタートしたが、上半期平均を下回る結果となり、売上、客数とも減少。年末、下半期の動向が懸念される。
- ◇家電…展示会開催店が若干みられたが、大きく売上を伸ばせていない。LED電球、シーリングライトの注文が目立ち始めた。リフォーム、水回り等の工事主体の店は売上がやや増加。太陽光発電は思うように売れていない。店舗主体店は、大きく売上が減少。
- ◇中古自動車…オークションが暦の関係で1開催多かったため、成約台数並びに収益も昨年並みで締めることができた。
- ◇石油…ガソリン販売価格は前年同月比4円上昇。販売量が減少しているため売上は増加していない。量販店は前年並みの販売量を確保しようと、売値を下げるため市況は全体的に下落しており、収益は改善されず、廃止・休業等に追い込まれる組合員が増加。
- ◇ホテル旅館…時期的に観光客(宿泊客)の動きが鈍いため、全体的に芳しくないように思える。
- ◇自動車整備…組合員事業場の車両入庫状況指数である継続検査台数(持込検査)は前年同月比普通車104.2%、軽自動車は101.6%。新車登録は減少。継続検査台数は微増。
- ◇総合建設…下水道工事・小規模舗装工事・建設工事の入札不調が増加。コスト的に合わない、舗装材工場の生産能力以上の工事発注、設計価格と実勢価格の開き、職人不足等が原因。小規模公共工事は労務費等が上昇し利益が得られない。
- ◇交通安全施設…燃料(ガソリン・ガス)等の価格上昇が懸念される。
- ◇県北地区運輸…主要顧客の出荷物量は前年より低調。燃料価格は小幅な値動きとなっており収益を圧迫。
- ◇県央地区運輸…秋冬衣料品、家電、雑貨とも動きは良い。引越も例年通り動きあり。生活用品等も動きはあるが鈍い。軽油は高止まりの為、収益は厳しい。

H24.10月の業界天気図

業種	指数	売上		収益状況	
		前年同月比		前年同月比	
食料品業		▲ 66.7			▲ 50.0
その他業		▲ 20.0			▲ 50.0
卸売業		▲ 50.0			▲ 75.0
小売業(商店街を含む)		▲ 54.5			▲ 45.5
サービス業		▲ 50.0			▲ 50.0
建設業		▲ 20.0			▲ 40.0
運輸業		▲ 50.0			▲ 50.0
全体		▲ 38.0			▲ 50.0

【天気図の見方】 県内情報連絡員が毎月いただいている情報連絡票の景況項目について、「増加」(又は「好転」)業種割合から「減少」(又は「悪化」)業種割合を差し引いた値(DI値)をもとに作成しています。その基準は、下図のとおりです。

30以上	10~30未満	10未満~▲10	▲10超~▲30未満	▲30以上

※表の中の数値はDI値